

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 大井 里美

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、令和4年8月現在全国の約98団体によって構成されています。当法人は今年代表理事が交代をしました。また、合わせて新理事が10名誕生しました。新たな体制で引き続き「川に学ぶ社会」の推進をしまいいりたいと思っています。

最近では少しコロナが落ち着いてきたと思ったのですがまたまた感染者が増加しております。しかしながら少しずつですが体験活動も活発に動き始めております。当法人も資機材ライフジャケット等のレンタルが増加しております。今年の夏は変な気候で6月に猛暑があり大変暑かった影響もあり、水難事故が多発してしまいました。とても悲しいことです。水辺で遊ぶときには絶対にライフジャケットが必要です。

【ライフジャケットの選び方】



水辺に行くときにはライフジャケットが必須です。しかしながらどんなライフジャケットでも良いわけではありません。川遊びをする

のに、船舶用の救命胴衣では、流水で脱げてしまうものもあります。体のサイズに適し、肩や腰のベルト等で体にフィットするものを選びましょう。子供用は更に股下ベルトがついているものがベターです。買うのはチョットという方はレンタルもあるのでぜひ、川に遊びに行く前にライフジャケットをレンタルしてください。当法人も団体や学校向けに、ライフジャケットのレンタルをしています。川のそばのキャンプ場などに行く時にはぜひ、ライフジャケットを持参してください。また、同時に川の危険などについてネットで検索をしていただくと川の危険などゲーム的に学べるサイトがありますので少しでも川の知識を知って安全に川遊びをしてください。以前にも記載させていただきましたRAC認定マークがついているライフジャケットがお勧めです。

【旧中川クルーズ・荒川ロックゲート】

最近では都心の運河を電気船や屋形船などでクルーズをしています。当法人も旧中川からEボートで荒川ロックゲートを



通船するクルーズを行っています。先日、男性5名で東大島から荒川ロックゲートを通船するクルーズを行いました。少し、風が強かったのですが水上は涼しく楽しいクルーズでした。旧中川と荒川の高低差が最大3メートルちかくもあることに参加された人は驚いていました。また、荒川ロックゲートを通船するときにEボート一艇でも稼働していただけることにも驚いていました。都会の中で運河のクルーズはとても魅力的だと思います。もっと、たくさんの方々に体験してほしいと思っております。

【第21回川に学ぶ体験活動全国大会 in 東京のご案内】

当法人では毎年、日本全国の地域の団体で全国大会を開催しております。2020年は青森県の小川原湖での開催でしたがコロナ感染症の影響で延期になり2021年についてもWEB開催になってしまいました。今年は東京で開催予定です。コンセプトは「歴史的・文化的な水都・東京の川の価値再発見」ということで10月29日、30日に開催予定です。基調講演は川の大御所に「川で遊ぶ、かけがえのない時間」と題してお話をさせていただきます。また、パネルディスカッションでは新しい試みとして東京の川の風景の新版画として川瀬巴水についてのお話もあります。エクスカーションにつきましては東京の水辺を堪能できるプログラムを準備しております。詳細が決まりましたらHPに掲載される予定です。コロナでまだまだ、不確定なところが御座いますがぜひご参加ください。

《NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会》

東京都北区田端 1-11-1 勘五郎ビル 104

TEL:03-5832-9841 FAX:03-6893-2642

<http://www.rac.gr.jp/>